

問1 鎮護国家の思想のもとで制作された、興福寺にあるこの時代を代表する仏教彫刻を何という？

1. 阿修羅像 2. 不空羼索観音立像 3. 月光菩薩像 4. 日光菩薩像

問2 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？

1. 15歳以上 2. 17歳以上 3. 6歳以上 4. 21歳以上

問3 奈良時代、唐の進んだ政治制度や文化を学ぶために、日本が中国へ派遣した使節団を何という？

1. 遣高麗使 2. 遣唐使 3. 遣隋使 4. 遣明使

問4 行基が協力したことで知られる、聖武天皇が国家の安泰を願って奈良に造営した巨大な仏像を何という？

1. 法隆寺の釈迦三尊像 2. 興福寺の仏像 3. 薬師寺の仏像 4. 東大寺の大仏

問5 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 平安京 4. 長岡京

問6 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？

1. 大化の改新 2. 三世一身法 3. 墾田永年私財法 4. 大宝律令

問7 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？

1. 租庸調 2. 班田収授法 3. 庚午年籍 4. 戸籍法

問8 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 桓武天皇 3. 孝徳天皇 4. 聖武天皇

問9 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 国司 2. 惣領 3. 郡司 4. 里長

問10 8世紀初めに編纂された、神話から推古天皇までの日本の成り立ちを記した歴史書を何という？

1. 古事記 2. 日本書紀 3. 懷風藻 4. 風土記

問11 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？

1. 645年 2. 710年 3. 1185年 4. 794年

問12 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？

1. 寝殿造 2. 書院造 3. 数寄屋造 4. 校倉造

問13 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？

1. 唐招提寺 2. 法隆寺 3. 正倉院 4. 薬師寺

問14 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 長岡京 4. 平安京

問15 度重なる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、日本に正式な仏教の戒律を伝えた唐の僧は誰？

1. 空海 2. 行基 3. 最澄 4. 鑑真

問16 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？

1. 古今和歌集 2. 万葉集 3. 新古今和歌集 4. 懷風藻

答え合わせ・解説

問1	答え 1 阿修羅像	奈良の興福寺にある「八部衆像」の一つで、乾漆造という手法で作られています。少年のように憂いを含んだ繊細な表情が特徴で、日本だけでなく世界的に非常に高く評価されている傑作です。
問2	答え 3 6歳以上	戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。
問3	答え 2 遣唐使	遣唐使は、天皇の命を受けて唐の都である長安へ赴き、最新の仏教や学問、政治体制を吸収しました。阿倍仲麻呂や最澄、空海など、多くの著名な人物も遣唐使として渡航し、帰国後に日本の文化や仏教の発展に大きく貢献しました。
問4	答え 4 東大寺の大仏	「東大寺の大仏」は、鎮護国家の精神を象徴する巨大な銅像です。完成には膨大な費用と人員が必要であり、聖武天皇は人望の厚い僧・行基に協力を仰ぎました。多くの民衆や貴族が造営に関わり、ようやく完成しました。
問5	答え 1 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問6	答え 3 墾田永年私財法	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしてしました。
問7	答え 2 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問8	答え 4 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問9	答え 3 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。
問10	答え 1 古事記	
問11	答え 2 710年	710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。
問12	答え 4 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問13	答え 3 正倉院	正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。
問14	答え 1 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並び、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問15	答え 4 鑑真	唐の僧である鑑真は、日本の僧からの熱心な招聘に応じ、5度もの遭難や失明という苦難を乗り越えて、6度目の来日を果たしました。日本に正しい仏教を伝え、多くの僧に戒を授けたほか、平城京に唐招提寺を建てて修行の場としました。
問16	答え 2 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、その中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。